

資料1-2

## ② 経営戦略の見直し(素案)について

### 1. 素案の概要

- 1.1 経営戦略の趣旨
- 1.2 事業概要
- 1.3 将来の事業環境
- 1.4 経営の基本方針
- 1.5 投資・財政計画
- 1.6 事後検証、更新等に関する事項

### 2. 今後のスケジュール

# 1. 素案の概要

- ポイントのみを説明します
- 参照ページと説明した審議会を記載しています。  
例) 「素案P1, 2/審①、②」とあるときは、  
「経営戦略(素案)」の1、2ページ、  
第1回、第2回審議会  
で説明したことを示しています。

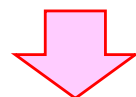
# 1.1 経営戦略の趣旨

素案P1, 2/審①、②

## 1.1.1 見直しの目的

素案P1

- 令和4年度に安城市新水道ビジョンの中間見直し
- 経営戦略策定から4年が経過し、見直し時期が到来
- 社会情勢の変化（新型コロナウイルス感染症拡大、物価高騰等）
- 総務省からの「より質の高い経営戦略の策定を求める通知」発出



上記内容を踏まえ、最新の財務状況と今後の整備計画との整合性を再検討するもの。

## 1.1.2 計画期間

素案P2

- 令和5(2023)年度～令和14(2032)年度

3

## 1.2 事業概要

素案P3~12/審①、③

### 1.2.1 事業の現況

素案P3~5

- 数値を最新のデータに置き換えました。

### 1.2.2 これまでの主な経営健全化の取組み（抜粋）

素案P6, 7  
審/未説明

#### 県水受水費の削減

- 県との給水契約水量の見直し。令和3年度は承認基本給水量を1,000 m<sup>3</sup>減量し、年間1,536万円削減

#### 動力費の削減

- 中部配水場の電力料金プランの見直しによる削減

#### 公民連携手法の導入

- 水道料金窓口業務について、すでに委託している検針業務と開閉栓業務と合わせて委託することで、民間事業者のノウハウによって業務の課題解決と効率化を進め、さらなる利用者サービスの向上を目指す

#### 利用者サービス

- 水道料金支払いにおけるスマホアプリ決済の導入ほか

4

## 1.2 事業概要

### 1.2.3 「経営比較分析表」活用した現状分析

素案P8~12

- 経営指標のグラフ・説明を最新のデータに修正

#### 現状分析の総括

- 令和3年度は、コロナ禍の令和2年度より有収水量は減少したが、令和元年度より安定した収益が確保でき、財務バランスは健全な状態が維持
- 今後、収益面は大きな給水収益増加が見込めない一方、費用面は減価償却等が増加する見通し
- 管路経年化率は毎年上昇し続けており、引き続き施設・管路更新に多額の費用が見込まれるため、次年度以降も投資額が高水準で推移する見通し
- コロナ禍及び物価上昇による経営環境へ与える影響は今後も続き、経営環境は厳しさを増していくことが予想される

# 1.3 将来の事業環境

素案P13~15/審②、③

## 1.3.1 給水人口及び水需要の予測、料金収入の見通し

### 概要

- 給水人口は、令和12(2030)年度をピークに減少
- 有収水量と料金収入は緩やかに減少

	令和3年度 (2021) 【実績値】	令和14年度 (2032) 【計画最終年度】	令和43年度 (2061) 【長期予測】
給水人口※	189,000人	192,000人 (2%増加)	176,000人 (R3から7%減少)
有収水量	54,000 m <sup>3</sup>	53,000 m <sup>3</sup> (2%減少)	49,000 m <sup>3</sup> (R3から10%減少)
料金収入	27億8,000万円	27億2,000万円 (2%減少)	25億円 (R3から10%減少)

※給水人口は、第8次安城市総合計画（後期計画）の推計値に基づき予測

# 1.4 経営の基本方針

素案P16~18

## 1.4.1 基本理念、経営方針



- この新水道ビジョンの基本理念に基づいて策定しています。
- 今回は変更ありません。

7

## 1.5 投資・財政計画（収支計画） 素案P19～26/審②、③

### 1.5.1 投資計画

素案P19, 20

#### 目標

- 老朽管を耐震管に布設替えすることで、漏水事故を減らすとともに、災害時の断水被害の軽減を図る
- 水道施設の耐震化を行い、地震に強く信頼性の高い整備に努める
- 管路の耐震管率は、令和14(2032)年度に48.6%を目指す

#### 投資の概算（令和5年度～14年度）

- 老朽管布設替事業 63億円
  - 重要管路の耐震化 35億円
  - 浄水場・配水場の施設更新等 24億円
- 合計122億円（上記3事業費の合計額）



## 1.5 投資・財政計画（収支計画）

### 1.5.2 財政計画

素案P20

#### 目標

##### ■ 資金残高

非常時に継続可能な事業運営のため、25億円以上を確保

##### ■ 企業債の活用

投資負担を平準化するため、企業債残高対給水収益比率300%  
以内で発行

##### ■ 料金回収率 100%以上

### 1.5.3 収支計画のうち投資以外の積算の考え方

素案P21

■ 委託料、動力費、材料費等について、物価上昇率を考慮

■ 人件費の上昇率を考慮

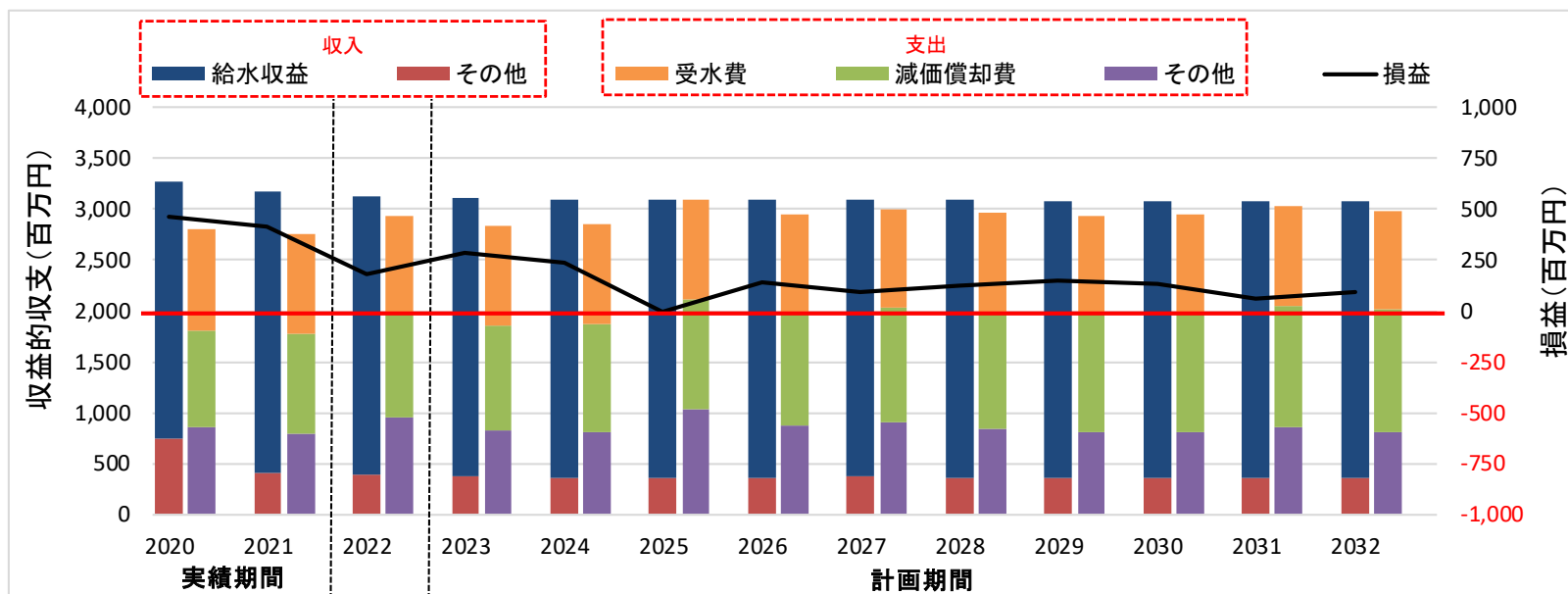
# 1.5 投資・財政計画（収支計画）

## 1.5.4 収支計画

素案P22

### 収益的収支の見通し（計画期間（R5～14））

- 設備投資に伴う減価償却費等の増加により利益（黒色の線）は減少していく見通しですが、計画期間は現行の料金水準を維持した場合でも、利益を確保できる見通しです。



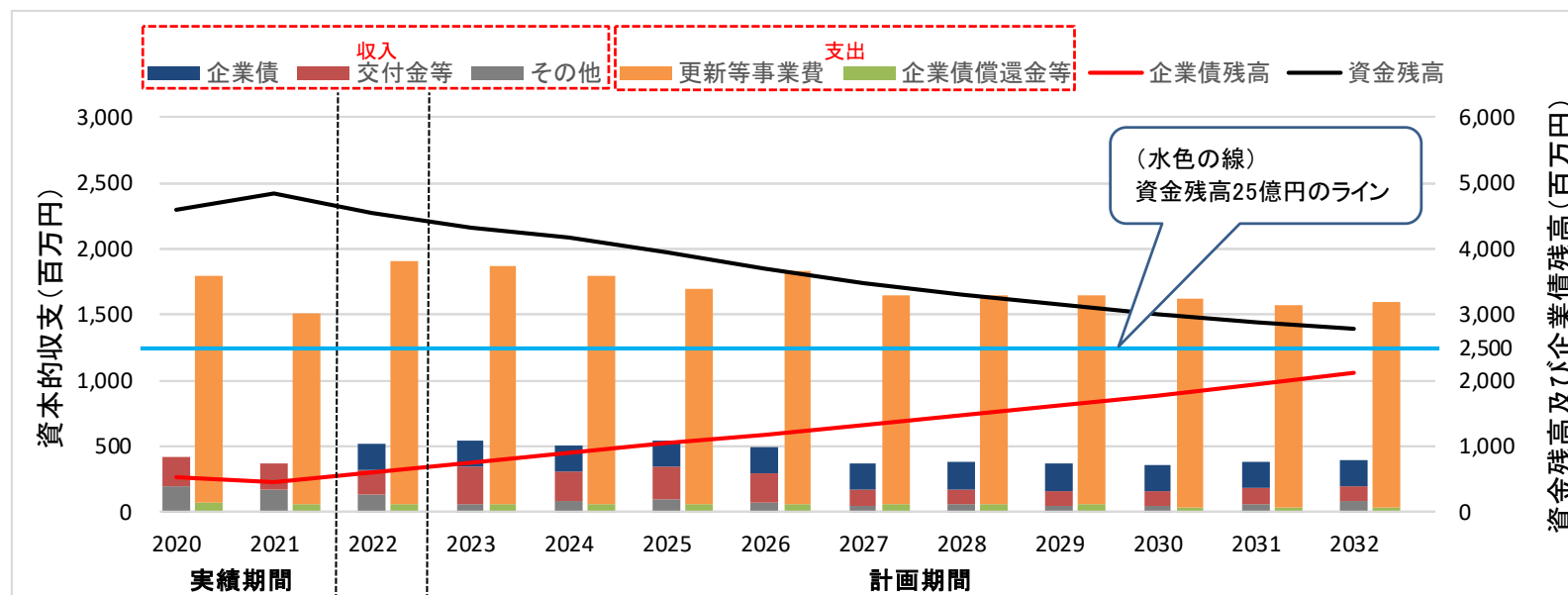
# 1.5 投資・財政計画（収支計画）

## 1.5.4 収支計画

素案P22

### 資本的収支の見通し（計画期間（R5～14））

- 資金残高（黒色の線）は年々減少するが、現行の料金水準を維持した場合でも、財政計画の目標である資金残高25億円以上を確保できる見込みです。



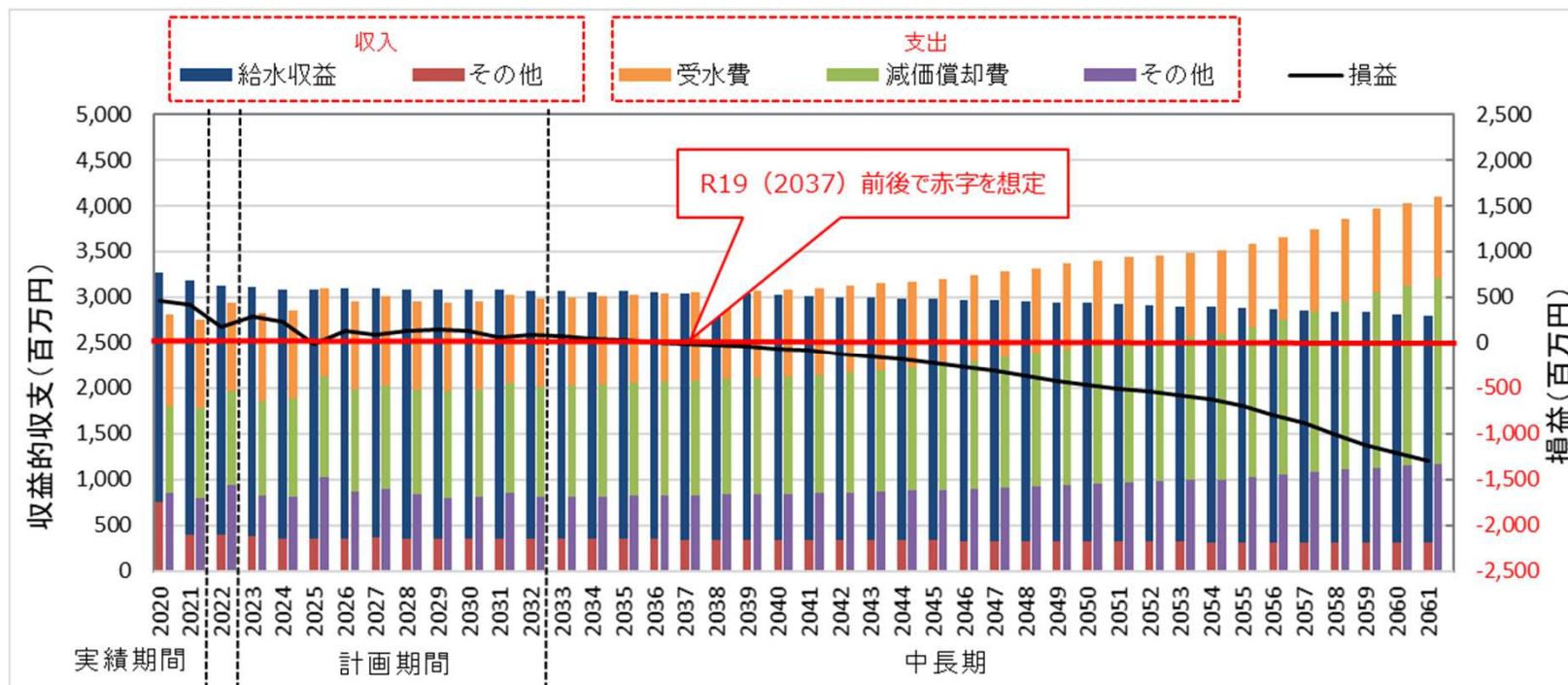
# 1.5 投資・財政計画（収支計画）

## 1.5.4 収支計画

素案P23

### 収益的収支の見通し（中長期）

- 中長期的には、給水収益の減少、減価償却費や物価上昇等による費用の増加などから、現行の料金水準を維持した場合は、令和19(2037)年度前後に赤字に転じる見込みです。なお、今後の情勢により変動します。



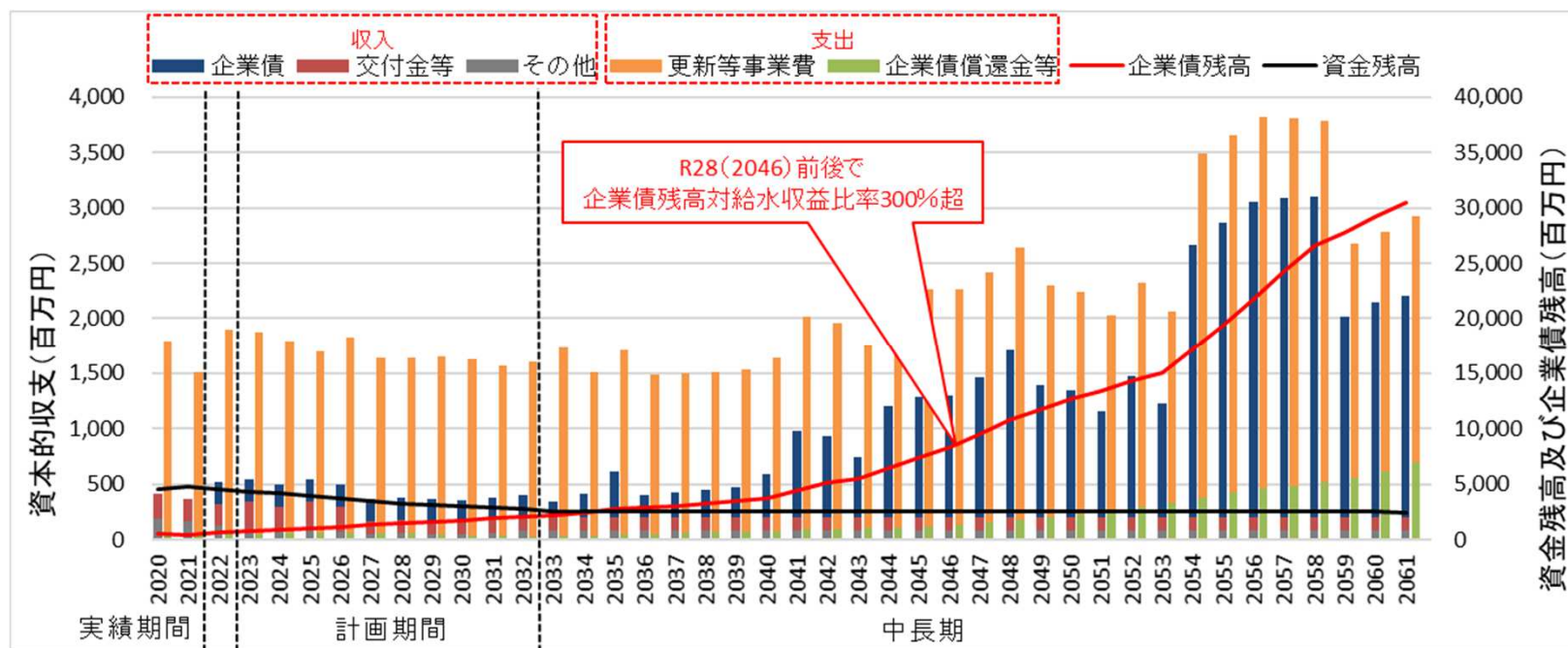
# 1.5 投資・財政計画（収支計画）

## 1.5.4 収支計画

素案P23

### 資本的収支の見通し（中長期）

- 施設の耐震化や老朽化に伴う事業費は増加傾向。令和28(2046)年度前後に企業債残高対給水収益比率が300%を超える見込みです。なお、今後の情勢により変動します。



## 1.5 投資・財政計画（収支計画）

### 1.5.4 収支計画

素案P28～31

#### 素案 別紙1 収支計画（一覧表）

- 計画期間中の、収益的収支及び資本的収支の数値一覧表です。
- 様式を、独自様式から、総務省の「経営戦略策定・改定マニュアル」に掲載の「ひな形様式」に変更しました。
- 変更した理由は、①ひな形様式を使用している自治体が多いこと、②他市と比較しやすいことです。

## 1.5 投資・財政計画（収支計画）

### 1.5.5 未反映の取組みや今後検討予定の取組みの概要

#### 投資についての検討状況

素案P24～26

#### ■ 民間資金・ノウハウ等の活用

効率的な業務のあり方や業務の統廃合について、民間事業者のノウハウを活かしながら、課題解決策について検討  
浄配水場施設の運転管理業務の委託の拡大を検討し、将来にわたり安定した経営とよりよい市民サービスの確保に努める。

#### 財源についての検討状況

- 料金：水需要の変化に対応した料金体系や将来の設備更新に必要な財源を考慮した水道料金のありかたを検討
- 企業債：発行にあたり、企業債残高対給水収益比率等に留意する。
- 繰入金：防災に関することなどに対しては、費用負担のあり方を一般会計部門と協議する

## 1.6 事後検証、更新等に関する事項

素案P27

- 目標に対する進捗状況を管理
- P D C Aサイクルを回して継続的な改善を図る
- 定期的（5年程度ごと）に見直しを行う
- 料金改定などの重要な決定が行われた場合は、随時見直す
- 計画に関することは、「安城市水道事業及び下水道事業審議会」に諮る。



## 2 今後のスケジュール

日程	内容
令和5年 3月22日～4月21日	パブリックコメント制度（パブコメ）による 意見募集
5月中旬	パブコメ意見募集結果の作成、計画への意見 反映を検討
7月中下旬	令和5年度第1回審議会 答申
8月	安城市経営戦略の施行